別紙様式 1

令和3年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立障がい者交流プラザ (障がい者交流センター及び視聴覚障がい者支援センター)	施設所在地	徳島市南矢三町二丁目1-59
指定管理者名	(社福) 徳島県社会福祉事業団	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
施設所管課	障がい福祉課	【連絡先】	088-621-2237

1 施設の概要

設置年月日	平成18年4月1日
設置目的	【障がい者交流センター】 障がい者に対し、交流の場の提供、相談、情報提供等の支援を行うことにより障がい者の自立と社会参加を促進する。 【視聴覚障がい者支援センター】 視聴覚障がい者に対し、相談、情報提供等の支援を行うことにより障がい者の自立と社会参加を促進する。
施設内容	【障がい者交流センター】 研修室、調理実習室、プレイルーム、アートワークルーム、OA研修室、盲人卓球室 【視聴覚障がい者支援センター】 点字・録音図書閲覧室、対面朗読室、書籍・ビデオ閲覧室、調理等訓練室、生活訓練室等
利用料金等	別添のとおり
開館日・休館日等	【障がい者交流センター】 休館日：1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで 【視聴覚障がい者支援センター】 休館日：木曜日(木曜日が休日に当たるときはその後においてその日にもっとも近い休日でない日) 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	【障がい者交流センター】 1 研修室、プレイルームその他の施設を利用に供すること。 2 その他障がい者の社会参加及び交流の促進のために必要な事業を実施すること。 【視聴覚障がい者支援センター】 1 点字刊行物及び視覚障がい者用の録音物の製作及び貸出し 2 対面朗読サービス 3 点訳奉仕員及び朗読奉仕員の養成 4 視覚障がい者に対する生活訓練 5 聴覚障がい者用の録音物の製作及び貸出し 6 手話通訳者の養成 7 視聴覚障がい者に対する相談、指導及び助言 8 その他視聴覚障がい者の支援のために必要な事業を実施すること。
------------	---

3 施設の管理体制

【障がい者交流センター】

管理体制	正職員 3名 臨時職員 2名 その他 5名 計 10名 館長1名、所長1名、係長1名、臨時職員2名、非常勤職員5名
------	--

【視聴覚障がい者支援センター】

管理体制	正職員 7名 臨時職員 5名 その他 5名 計 12名 所長1名、総括専門企画員1名、係長1名、支援員4名、非常勤支援員3名、パート支援員2名
------	--

4 施設の利用状況

【障がい者交流センター】

利用者数 (人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	R3年度	1,612	1,517	1,983	2,424	2,424	1,655	2,343	2,895	2,653	1,841	1,609	1,529	24,485
	前年度	876	535	1,599	2,001	1,748	1,992	2,594	2,348	2,489	1,986	2,254	2,415	22,837
	前々年度	3,662	3,773	4,025	4,582	3,833	3,917	4,182	4,804	4,323	3,874	4,289	1,868	47,132

月別利用 料金収入 (千円)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	R3年度	49	50	48	47	25	48	60	61	45	47	50	54	584
	前年度	60	35	37	84	60	83	69	69	89	67	74	92	819
	前々年度	352	89	222	179	170	136	138	129	157	84	55	▲ 36	1,675

施設毎 利用料金収入 (千円)		研修室等											計	
	R3年度		584											584
	前年度		819											819
	前々年度		1,675											1,675

【視聴覚障がい者支援センター】

利用者数 (人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	R3年度	537	513	553	467	521	506	500	500	532	456	477	433	5,995
	前年度	387	382	517	549	473	585	556	511	557	506	491	597	6,111
	前々年度	591	543	581	552	419	565	596	606	668	594	599	501	6,815

5 収支の状況

【障がい者交流センター】

(単位：千円)

項目		令和3年度	令和2年度(前年度)	令和元年度(前々年度)
収入	指定管理料	79,826	79,826	79,826
	利用料金収入	584	819	1,675
	事業収入	1,240	1,577	4,974
	その他	144	198	260
	計	81,794	82,420	86,735
支出	人件費	32,963	32,024	27,134
	管理運営費	46,419	49,461	52,833
	事業費	1,884	2,524	7,059
	その他	0	0	0
	計	81,266	84,009	87,026
収支		528	▲ 1,589	▲ 291

【視聴覚障がい者支援センター】

項目		令和3年度	令和2年度(前年度)	令和元年度(前々年度)
収入	指定管理料	51,199	51,199	51,199
	利用料金収入	72	0	0
	事業収入	1,484	62	819
	その他	3,269	1,457	1,884
	計	56,024	52,718	53,902
支出	人件費	41,835	39,391	39,902
	管理運営費	5,468	7,250	8,032
	事業費	6,567	2,923	5,907
	その他	784	129	40
	計	54,654	49,693	53,881
収支		1,370	3,025	21

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不必要なエネルギー使用を抑制、資料の簡素化による消耗品の支出抑制等による固定費コストを削減 <p>【障がい者交流センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般利用者による会議室使用を拡大 「福祉の店」 販売手数料により収入財源を確保 ・ 維持管理業務の集約化によるコスト削減 <p>【視聴覚障がい者支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 点字・録音資料の作成により収入財源を確保
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症感染防止対策を徹底し、各種事業を実施 <p>【障がい者交流センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種の企画展、パネル展、プラザ講座を開催し、施設のPRと交流の場を提供 ・ 例年8月最終日曜日に開催している交流プラザフェスタについて、9月1か月間を「2021交流プラザフェスタ月間」として開催 ・ 感染症対策をテーマとして避難所開設運営訓練を開催 ・ 障がい者の就労支援とボランティア推進 ・ 施設機能の有効利用と円滑な運営のため、館内連絡調整会議を開催 <p>【視聴覚障がい者支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 点字図書館におけるデジタル化とネットワーク化を推進 ・ 生活訓練におけるICT活用のための技術指導 ・ ユニバーサルデザイン製品等を常設展示 ・ 各種団体、学校を対象に、視聴覚障がい者に対する理解を深めるための講習会、学習会を開催

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	<p>【障がい者交流センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プラザ見学会を開催 プラザ講座を開催 パソコンコーナーを設置 ・ 交流プラザフェスタ月間を設定し開催 感染症対策をテーマとして避難所開設運営訓練を開催 ・ 障がい者に就労の場を提供し本人の自立支援を推進 <p>【視聴覚障がい者支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚障がい者を対象とした同行援護従業者養成研修を実施 ・ ユニバーサルデザイン製品等の常設展示 ・ 聞こえない方や聞こえにくい方を対象に、聞こえの相談会を開催 ・ 見えない方や見えにくい方を対象に、日本点字図書館と連携し、視覚障がい者向けの福祉機器展、機器体験会、講演会を開催 ・ 災害時における聴覚障がい者支援のための研修会を開催
----------	---

8 管理運營業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	・各センターにおいて、安定的な運営が行われている。 【障がい者交流センター】 ・御意見箱の設置、利用者へのアンケート調査など、利用者のニーズを把握し適切な対応を行っている。 【視聴覚障がい者支援センター】 ・講座ごとのアンケートの実施や、年に1回満足度調査を行うなど、積極的に利用者のニーズの把握に努め、適切な対応を行っている。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	S	・「交流プラザフェスタ月間」の設定、運営など、施設の設置目的に沿った事業を積極的に実施している。 ・関係団体と連携し、障がい者に対するケアの充実を図る事業を実施している。 ・障がい者の作品の展示などを積極的に企画し取り組んでいる。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	・定期的に職員が施設内を巡回し、故障や異常に対し適切に対応している。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	S	・効率的な人員配置、事務経費縮減、光熱水費の節減に努めた結果、感染症対策に取り組む中でも収支均衡が保たれた。
⑤管理運営体制等 ・管理運營業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	・業務計画書に従い、職員の配置や適切な研修が行われ、施設の適正な維持管理が実施されている。 ・セルフモニタリングの実施状況は、月次報告書により報告が行われている。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	・業務計画書に沿った体制が整えられている。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	・積極的に取り組んでいる。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	・館内連絡調整会議の開催など、必要に応じた連携が図られている。 ・関係団体と連携し、障がい者に対するケアの充実を図っている。 ・地域住民とともに防災訓練に取り組み、地域との連携が図られている。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	・監視カメラを設置し、適正な施設管理を行っている。 ・危機管理マニュアルに基づいた体制が構築できている。 ・緊急連絡網により、組織、県への連絡体制が整備されている。 ・個人情報の取扱いについては、職員の間で意識付けがされており、外部に流出しないよう留意している。
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	・環境負荷の少ない物品の購入推進など、積極的なエコオフィス活動に取り組んでいる。 ・利用者の障がい特性に配慮しつつ、節電や温度管理を行っている。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	・法令に基づいた適正な運営がなされている。
総合評価	A	・概ね協定書の内容が達成されており、適正な管理運営が行われている。

〈評価指標〉 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
A：概ね協定書の内容とおりの成果があり、適正な管理が行われている。
B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

・施設の一部に、修繕の必要な箇所がある。
 ・備品の一部に、更新が必要なものがある。
 今後、指定管理者と連携を密にし、計画的に修繕・更新を行っていく必要がある。

利用料金表

その1

区 分		利用料金		
		午前 (午前九時から 正午まで)	午後 (午後一時から 午後五時まで)	夜間 (午後六時から 午後九時まで)
交流センター	研修室	九、三二〇円	一二、三六〇円	五、六〇〇円
	会議室	一、六七〇円	二、二〇〇円	九九〇円
	調理実習室	一、九九〇円	二、六一〇円	一、一五〇円
	プレイルーム	七三〇円	九四〇円	四一〇円
	アートワークルーム	二、九三〇円	三、八七〇円	一、七二〇円
	〇A研修室	五、二三〇円	六、九一〇円	三、〇九〇円
スポーツセンター	体育館	六、五二〇円	八、一六〇円	七、八六〇円

その2

区 分		利用料金	超過料金
交流センター	盲人卓球室	五二〇円	二六〇円
スポーツセンター	温水プール	小学校の児童	三一〇円
		中学校の生徒	五二〇円
		その他の者(学齢 に達しない者を除 く。)	六二〇円
			三〇〇円

その3

区 分		利用料金
スポーツセンター	トレーニング室	一回当たり 五二〇円
規則で定める用具		規則で定める額

その4

区 分		利用料金
スポーツセンター	温水プール回数券(利 用十一回分)	その二の表の基本料金に係る温水プールの利用料金の額 に十を乗じて得た額
	トレーニング室回数券 (利用十一回分)	トレーニング室の利用料金の額に十を乗じて得た額
	温水プール及びトレー ニング室共通利用券	その二の表の基本料金に係る温水プールの利用料金の額 とトレーニング室の利用料金の額との合計額に百分の八 十を乗じて得た額